

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	124	俳句のくにづくり拠点施設建設事業	会計	01	一般会計	
			款	02	総務費	
基本策	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	項目	01	総務管理費	
			07	文化振興費		
施策	4	松尾芭蕉を核とした地域づくりの推進	細目	105	俳句のくにづくり拠点施設建設事業	
			細々目	01	俳句のくにづくり拠点施設建設事業	
基本計画該当頁			140		行革大綱の重点事項番号	
			7			
担当部課	コード	040200		評価者氏名	森本 勝美	
	名称	企画振興部文化国際課		連絡先	22 - 9624 (内線) 2120	

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
芭蕉翁を顕彰する人、俳句愛好家 伊賀市を訪れる観光客 生涯学習活動、文化活動を行う人 (※対象件数)	芭蕉翁の俳諧資料などを収集・保存・展示し、調査研究・情報提供を行うことができる。 生涯学習、社会教育、観光施設としても活用できる。 伊賀市を訪れる観光客が増える。
根拠法令・要綱等 (仮称)新芭蕉翁記念館整備検討委員会設置要綱、(仮称)新芭蕉翁記念館基本計画検討委員会設置要綱	
開始年度 平成 19 年度 終了年度 平成 年度	関連事業
(仮称)新芭蕉翁記念館基本構想の策定に係る検討委員会を6回開催 目的と基本理念、目指す姿、方向性、基本的な機能、管理運営、立地場所について審議 とりまとめて市長に答申をした。	平成19年度は、(仮称)新芭蕉翁記念館建設について、検討委員会を設置し「基本構想」の審議を行った。 平成20年度は、市としての「基本構想」の策定並びに、整備計画の詳細について定める「基本計画」の検討・策定にむけて取り組む。
事業内容	状況変化等

整備内容

1 建設用地	未定
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	2,138,281 千円

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	未定
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

進捗状況	年度	平成18年度 決算内容					平成19年度 決算内容					平成20年度 計画内容					平成21年度 計画内容					平成22年度 計画内容					平成23年度 計画内容				
		事業内容	数量	単位	金額		事業内容	数量	単位	金額		事業内容	数量	単位	金額		事業内容	数量	単位	金額		事業内容	数量	単位	金額		事業内容	数量	単位	金額	
委託	19				(千円)		報酬			666		報償費			294		建築展示基本設計委託料			25,000		建築展示実施設計委託料			57,000		建設工事費			750,000	
	20						旅費			59		旅費			633		その他			500		地質調査委託料			1,500		建設監理業務委託料			17,000	
工事	21						計画策定委託料			410		計画策定委託料			7,700							その他			500		その他			500	
	22						その他			47		その他			592																
23																															
進捗率(%)							事業費計(A)	Σ	0	事業費計(A)	Σ	1,182	事業費計(A)	Σ	9,219	事業費計(A)	Σ	25,500	事業費計(A)	Σ	59,000	事業費計(A)	Σ	767,500	事業費計(A)	Σ	767,500				
事業投入人員	人件費(B)		人	0	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160			
フルコスト(A)+(B)					0			3,342				11,379				27,660				61,160				769,660							

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	0	1,182	9,219	25,500	59,000	767,500
Aの財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債			24,200	56,000	729,100
	受益者負担			1,300	3,000	38,400
	その他			0	0	0
	一般財源	0	1,182	9,219	0	0
	計	0	1,182	9,219	25,500	767,500
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率			合併特例債 95% 芭蕉翁顕彰事業基金	合併特例債 95% 芭蕉翁顕彰事業基金	合併特例債 95% 芭蕉翁顕彰事業基金
	地方債の区分と充当率等					

事業種別	継続	単独	事業類型	II	施設の建設	2次評価対象分
------	----	----	------	----	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
(仮称)新芭蕉翁記念館基本構想策定	回	目標 ー	目標 ー	1	
		実績 ー	実績 ー		
(仮称)芭蕉翁記念館基本計画策定	回	目標 ー	目標 ー	1	
		実績 ー	実績 ー		
		目標 ー	目標 ー		
		実績 ー	実績 ー		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
検討委員会の開催回数	市民、有識者の意見を入れながら、整備計画を策定する。	回	目標 ー	目標 3	7	ー
			実績 6	実績 6		
パブリックコメントの聴取回数	市民の意見を整備計画に反映させる。	回	目標 ー	目標 ー	1	ー
			実績 ー	実績 ー		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	昭和34年に建てられた芭蕉翁記念館の老朽化が進み、展示スペースも手狭で、新しいニーズに即応した施設の建設必要である。また、平成10年には芭蕉翁記念館建設にかかる答申がなされ、平成18年には美術館建設の請願が提出されていることから、生涯学習、社会教育、観光等の要素を兼ね備えた複合施設の建設が強く望まれている。
有効性	4	芭蕉翁の俳諧資料などを収集・保存・展示し、時代に即応した調査研究や情報提供を行うことができる。さらに、「伊賀市」を生誕地とする芭蕉翁を顕彰し、翁の偉業を全世界へ発信することにつながる。伊賀市を訪れる観光客が増加することも期待できる。また、複合施設として建設計画を進めることにより、地域住民の生涯学習、社会教育施設として活用されることが期待できる。
達成度	4	計画どおりできた。
効率性	4	施設や展示の規模・機能・設備並びに運営管理手法等について、必要な調査・分析に基づき検討委員会にて協議し、効率的な新記念館の整備計画を策定する。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	基本計画策定業務は指名型プロポーザルで業者を選定する。